

出前講座「香りへの招待」報告

広島大学マスタース会員 平田敏文

日時：2019年8月17日（水）14:00～15:50

場所：黒瀬生涯学習センター 会議室A・B

参加者：27名

東広島市黒瀬図書館が開設している『おとなの雑学講座～夏の巻～』で出前講義を行った。講演では、私たちの暮らしと密接な係わりを持っている“香り”をテーマに、「香りの文化」と「香りの科学」にわけて話した。以下にその概要（レジメ）を記載する。盛りだくさんにいろいろなことを話したので、時間がオーバーしてしまったが、最後まで熱心に聞いていただき感謝している

(A) 香りの文化—“香り”の人間との係り合い

(1) 古代エジプトの香り：「乳香」と「没薬」

(香りのルーツを訪ねて)

(2) 日本の香りの文化：万葉集や古今和歌集に

詠われた香り，歴史にみる貴重な香り

(「竜腦」と「蘭奢待」)



(B) 香りの科学—“香り”とはどのようなものか？

(1) 香料について

(a) 植物からの香料：ローズ，ジャスミン，ネロリ

(b) 動物からの香料：じゃ香，竜涎香

(2) “香り”を決める化学物質

(a) 花や食品の香り：薔薇，まっただけ，コーヒー，バニラ

(b) ライオンもうっとりする香り：マタタビ（マタタビラクトン）

(c) 虫が好かない香り：除虫菊（ピレトリン），楠（樟脳）

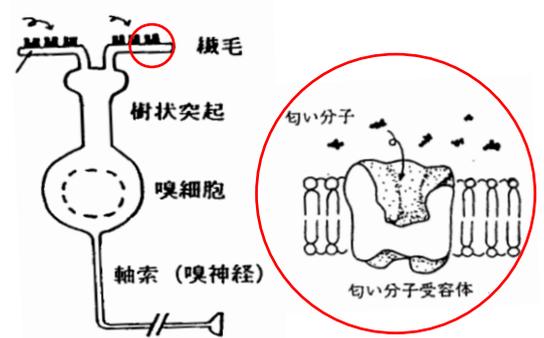
(3) 香りの生理学—生き物にとって“香り”とは何か？

(a) 香りによる生物のコミュニケーション

- ・モンシロチョウとキャベツの駆け引き
- ・鮭の母川回帰
- ・香りを防御物質として使う虫

(b) “香り”の認識と記憶

- ・嗅覚受容体 - 人間の鼻は蛙なみ
- ・香りの総合的記憶



(4) アロマテラピー (芳香療法)

- ・嗅覚刺激による間接的な療法
- ・精油を用いる直接的な療法



“香り”の総合的な記憶

